

# 調査概要・ 企業主導型保育施設の 取り組みの実態

淀川裕美

発達保育実践政策学センター

# 企業主導型保育事業 制度概要

- 仕事と子育ての両立支援を目的に、内閣府の下で平成28年度に開始。
- 制度の意義（内閣府）：待機児童対策への貢献、企業の従業員の多様な働き方に対応、企業の自主性に配慮。
- 子育て・子ども拠出金を負担している企業等が、従業員のための保育施設を設置する場合に、整備費・運営費を助成（認可施設並み）。
- 平成31年3月31日時点の助成決定施設は、全国で3,817施設、定員86,354名分。
- 「企業主導型保育事業の円滑な実施に向けた検討委員会」（内閣府）の議論。

施設の種類	認可の有無	公的助成	対象児童	規模	保育士資格	利用料
認可保育所	認可	あり	0歳～就学前	20人以上	全員	自治体基準
小規模保育事業（A）	認可	あり	0歳～2歳	6～19人	半数以上	自治体基準
企業主導型保育事業	認可外	あり	0歳～就学前	定めなし	半数以上	施設ごと
事業所内保育事業	認可	あり	0歳～2歳	6～19人	半数以上	自治体基準
認可外保育施設	認可外	一部の施設	0～就学前	定めなし	3分の1以上	施設ごと

# 企業主導型保育をめぐる報道

## ■ 様々な期待

- ・ 年度途中など、復職したいタイミングで入所できる（保活に悩まない）
- ・ 休日や夜間、短時間、週2日のみなど、幅広い利用の仕方ができる
- ・ 人材確保、離職防止にも繋がることへの期待

## ■ 一方で、課題も

- ・ 定員割れの施設が目立ち、保育の質の確保も課題
- ・ 施設や人員の不備が指摘されたり、健康診断の適正な実施が求められた施設も
- ・ 自治体との情報共有が不十分
- ・ 助成金の不正受給の発覚

### 【調査の目的】

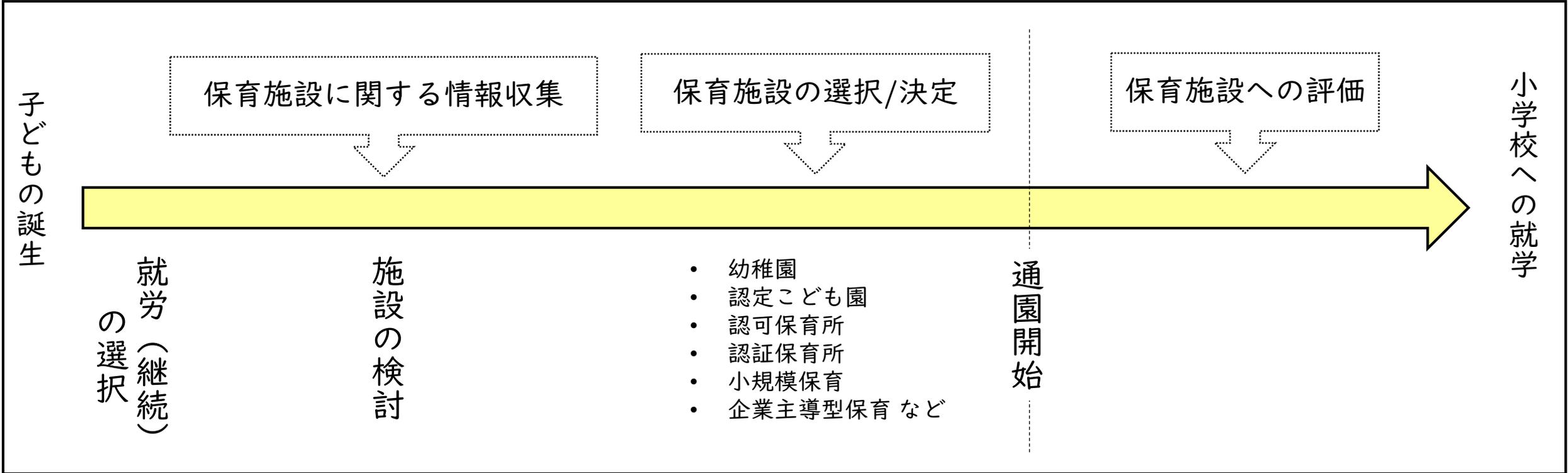
制度開始から3年経過した現時点での

- ・ 施設や利用者の実態
- ・ 保護者の認識・評価

の検討を通し、企業主導型保育の今後を考えるための知見を得ること。

〔日本生命保険相互会社と共同で調査を実施〕

# 本シンポジウムで検討するテーマ



**I** 企業主導型保育の認知度・施設の取り組みの実態  
(淀川)

**III** 保護者の施設選択の要因  
(深井)

**II** 保護者の利用施設への評価の実態  
(佐々木)

# I 調査概要・企業主導型保育施設の取り組みの実態・認知度（淀川）

1. 調査の目的・方法・回答者の属性（参考資料）
2. 企業主導型保育事業の認知状況
3. 企業主導型保育施設では、どのような取り組みを行っているか。

# II 保護者の利用施設への評価の実態（佐々木）

1. 企業主導型保育施設を利用している保護者が、施設についてどのような評価をしているか。
2. 保育者が「保育の質が高い」「全体的に園に満足している」と答えた施設ではどのような取り組みを行っているか。

# III 保護者の保育施設選択の要因（深井）

1. 保護者が保育施設を選択する際に、どのような情報を重視しているか。
2. 保護者が保育施設を選択を考えるとときに、企業主導型保育事業は保育施設の選択の中でどのような立ち位置なのか。

# 調査・話題提供の構成

		施設形態 (通園の有無)	
		企業主導型保育施設 (通っている)	あらゆる施設形態 (通っている/通わせたい)
調査協力者	施設長	<div data-bbox="879 582 988 692" style="background-color: #f4a460; display: inline-block; width: 20px; height: 20px; text-align: center; line-height: 20px;">II</div> 調査 I (園単位で調査協力依頼)	調査 2 (ウェブ調査会社のモニター)
	保育者		
	保護者		<div data-bbox="2229 839 2339 949" style="background-color: #3498db; display: inline-block; width: 20px; height: 20px; text-align: center; line-height: 20px;">III</div>

I

回答者属性 (調査 1・2)  
保護者の認知状況 (調査 1・2)、施設の取り組み (調査 1)

II

保護者の評価の実際と  
施設の取り組みとの関連 (調査 1)

III

保護者の施設選択の要因 (調査 2)

# 調査の方法

## 調査 I

企業主導型保育施設に勤務している施設長・保育者・利用している保護者へのweb調査を実施。

- ◆平成31年3月31日までに開所していた2,514施設。
- ◆施設長（1名）・保育者（何名でも）・保護者（何名でも）を対象。施設に調査依頼状を送付し、施設長から保育者・保護者への調査協力依頼もしてもらった。
- ◆調査時期：令和元年8月22日に、各施設に調査協力依頼状を郵送。回答期限9月22日。
- ◆Web調査の実施は、（株）マクロミルに委託。
- ◆回答状況：表の通り。

	施設長	保育者	保護者
回答者数	584	1236	1767
回収率	23.2		
送付数	2514		

## 調査 2

保育・幼児教育施設に子どもを「通わせている」もしくは「通わせたいと思っている」保護者へのweb調査を実施。

◆調査委託先（株）マクロミルのリサーチ専用の自社モニターに調査協力を依頼。

◆子どもの誕生時期と回答者数（表）

※各群1000名程度とし、「通っている」対「通わせたい」の割合は、マクロミルが行ったスクリーニング調査で、9月27日21時半時点の条件該当者の自然出現の割合に応じて設定。

◆調査時期（回答受付時期）：9月27日～30日。

相当する クラス	お子さんの誕生時期	通わせている		通わせたい		合計	全体
		人数	割合	人数	割合		
0歳児クラス	2018年4月～2019年8月生まれ	212	19.9	851	80.1	1063	6391
1歳児クラス	2017年4月～2018年3月生まれ	491	46.0	577	54.3	1068	
2歳児クラス	2016年4月～2017年3月生まれ	558	52.4	506	47.6	1064	
3歳児クラス	2015年4月～2016年3月生まれ	986	92.5	80	7.5	1066	
4歳児クラス	2014年4月～2015年3月生まれ	1037	97.5	27	2.5	1064	
5歳児クラス	2013年4月～2014年3月生まれ	1049	98.4	17	1.6	1066	

# 調査内容（施設長・保育者）

I

II

施設長	保育者
<p>性別・年齢・施設の所在地            施設形態※<sub>1</sub>            設置形態            運営形態            地域枠の有無            設置時期            運営クラスの園児/職員数            園内研修の実施状況            園外研修の参加状況            第三者評価の受審状況            勤務施設の選択※<sub>2</sub>            勤務施設の特徴※<sub>3</sub>            保育者としての職歴※<sub>4</sub>            勤務年数※<sub>5</sub></p>	<p>性別・年齢・施設の所在地            施設形態※<sub>1</sub>            勤務施設の選択※<sub>2</sub>            勤務施設の特徴※<sub>3</sub>            保育者としての職歴※<sub>4</sub>            勤務年数※<sub>5</sub>            担当クラスの園児/職員数</p> <p>・「※」は同一の設問であることを示す。            ・青字部分が本シンポジウムで取り上げる内容</p>

# 調査内容（保護者）

I

II

III

## 保護者（調査Ⅰ：利用者）

性別・年齢・居住地  
企業主導型の認知状況・知った時期  
利用施設に空きがなかった時の選択  
子どもの人数・年齢・就園/就学状況  
施設の特徴・満足感・質の高さの認識  
婚姻状況  
就労状況  
出産前後の就労状況  
世帯年収  
保護者の最終学歴  
保育・幼児教育の無償化に対する認識

## 保護者（調査Ⅱ）

性別・年齢・居住地  
企業主導型の認知状況・知った時期  
利用施設に空きがなかった時の選択  
子どもの人数・年齢・就園/就学状況  
施設の特徴・満足感・質の高さの認識  
婚姻状況  
就労状況  
出産前後の就労状況  
世帯年収  
保護者の最終学歴  
保育・幼児教育の無償化に対する認識  
夫婦間・祖父母等による送迎分担等  
保育施設選択の際に重視する点  
(Conjoint分析・主観的評価)

調査 1・2 保護者（利用者）の回答から

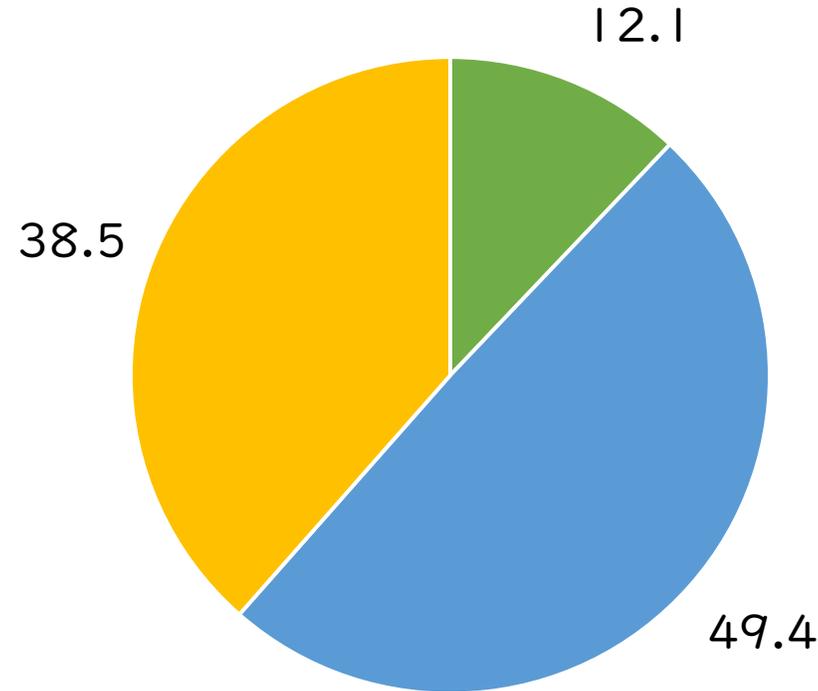
# 企業主導型保育事業の認知状況

# 保護者の認知状況

## 一般層（調査2）

企業主導型保育事業をご存知でしょうか。

平成26年4月以降生まれのお子さん  
がいる保護者  
(n=1835)



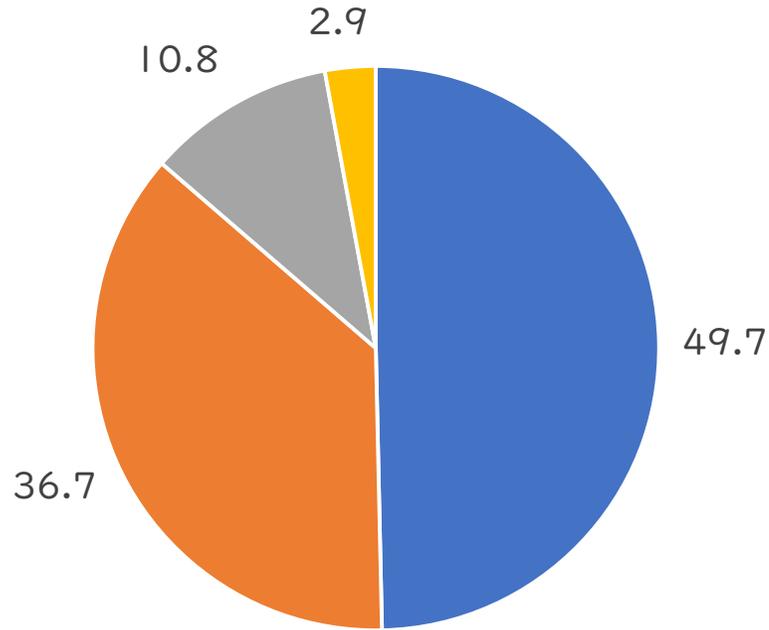
■ 比較的詳しく知っている ■ 名称を聞いたことがある程度 ■ 聞いたことがない

知らない人が4割近く、知っていても名前を聞いたことがある程度の人が5割近く

# 企業主導型保育事業を知った時期

## 利用層（調査1）

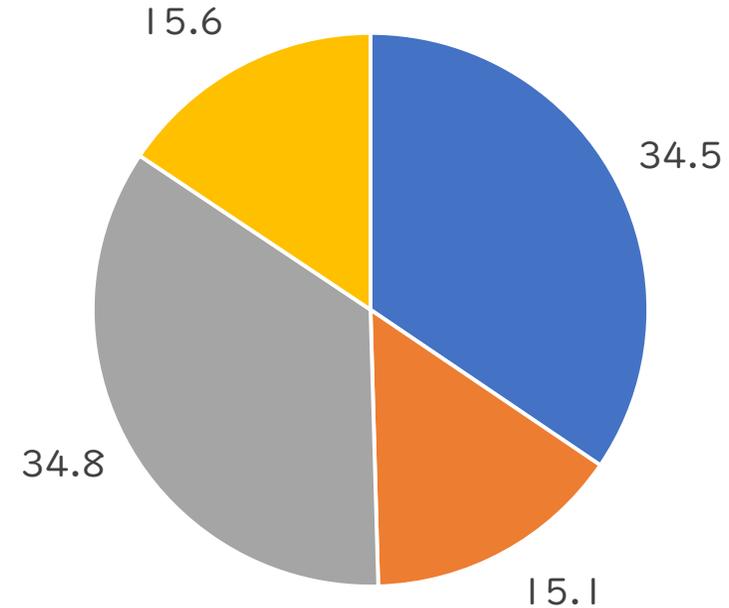
就学前のお子さんのいる利用層の保護者  
(n=1767)



入所申請前・申請時に知っていた人は、利用層では8割を超えるが、一般層では5割に満たない。

## 一般層（調査2）

平成26年4月以降生まれのお子さんがある保護者のうち  
企業主導型保育事業を知っていた人  
(n=2928)

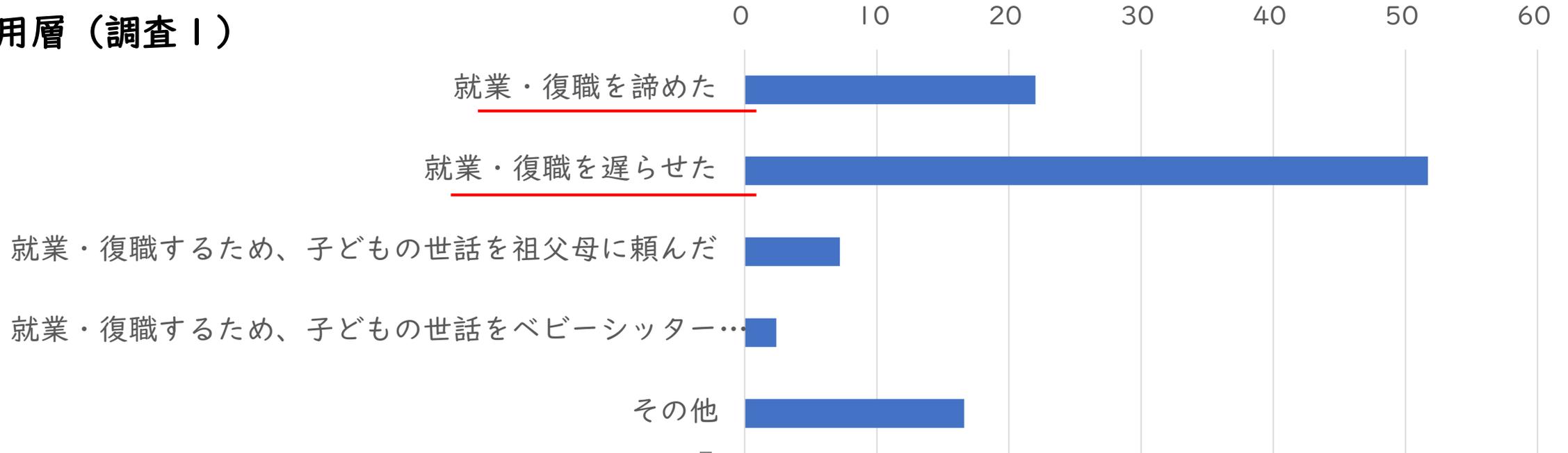


- 保育所の入所申請前から知っていた
- 保育所の入所申請時に教えてもらい、知った
- 保育所の入所申請時は知らなかったが、現在は知っている
- 今まで知らなかったが、今回の調査で初めて知った

# 現在の利用施設が空いていなかったら

(n=1767)

## 利用層（調査Ⅰ）



- (内定していた/通っていた) 認可・認証の保育所に入れた
- 転職した/託児所付きの職場を探した
- 他の保育園を探した
- 第二子をあきらめた/里子を預かる事を諦めた
- 一時預かり保育を利用した
- 上の子を療育に通わせるのを諦めた
- 職場/大学に連れて行った

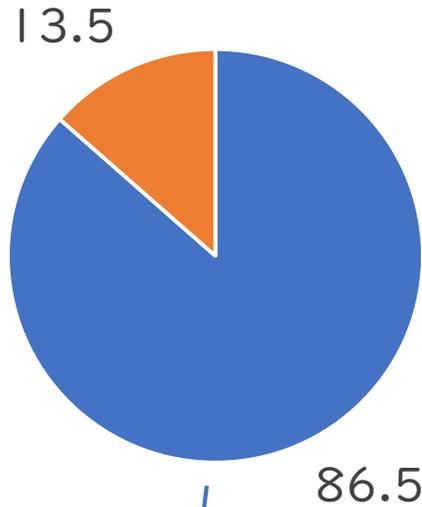
など

調査Ⅰ 企業主導型保育施設の施設長・保育者の回答から

# 施設の取り組みの実態

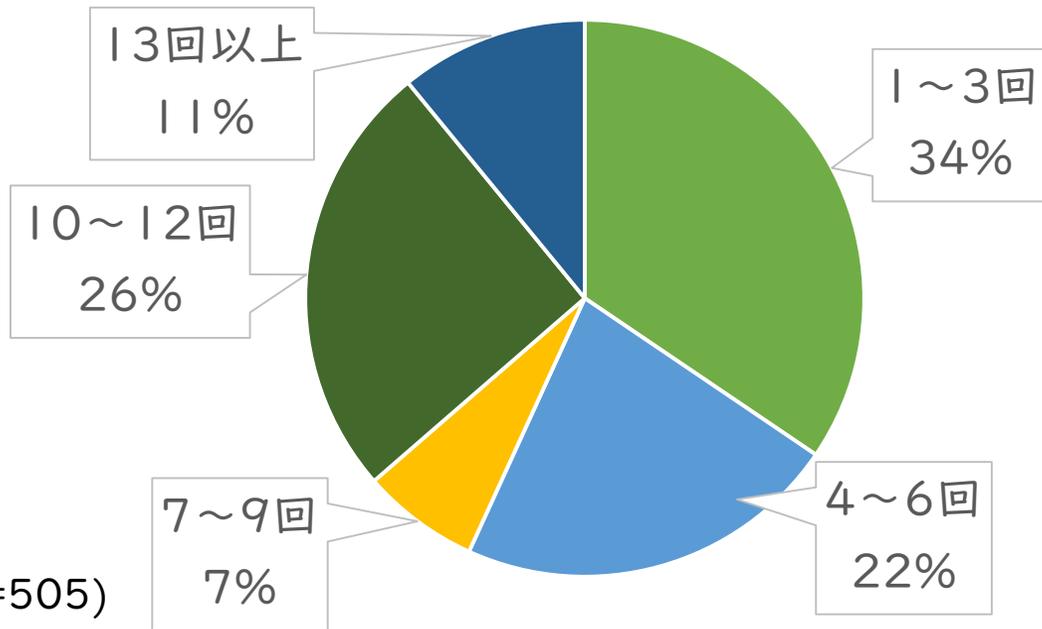
# 園内研修の実施状況（平成30年度の一年間で）

(n=584)

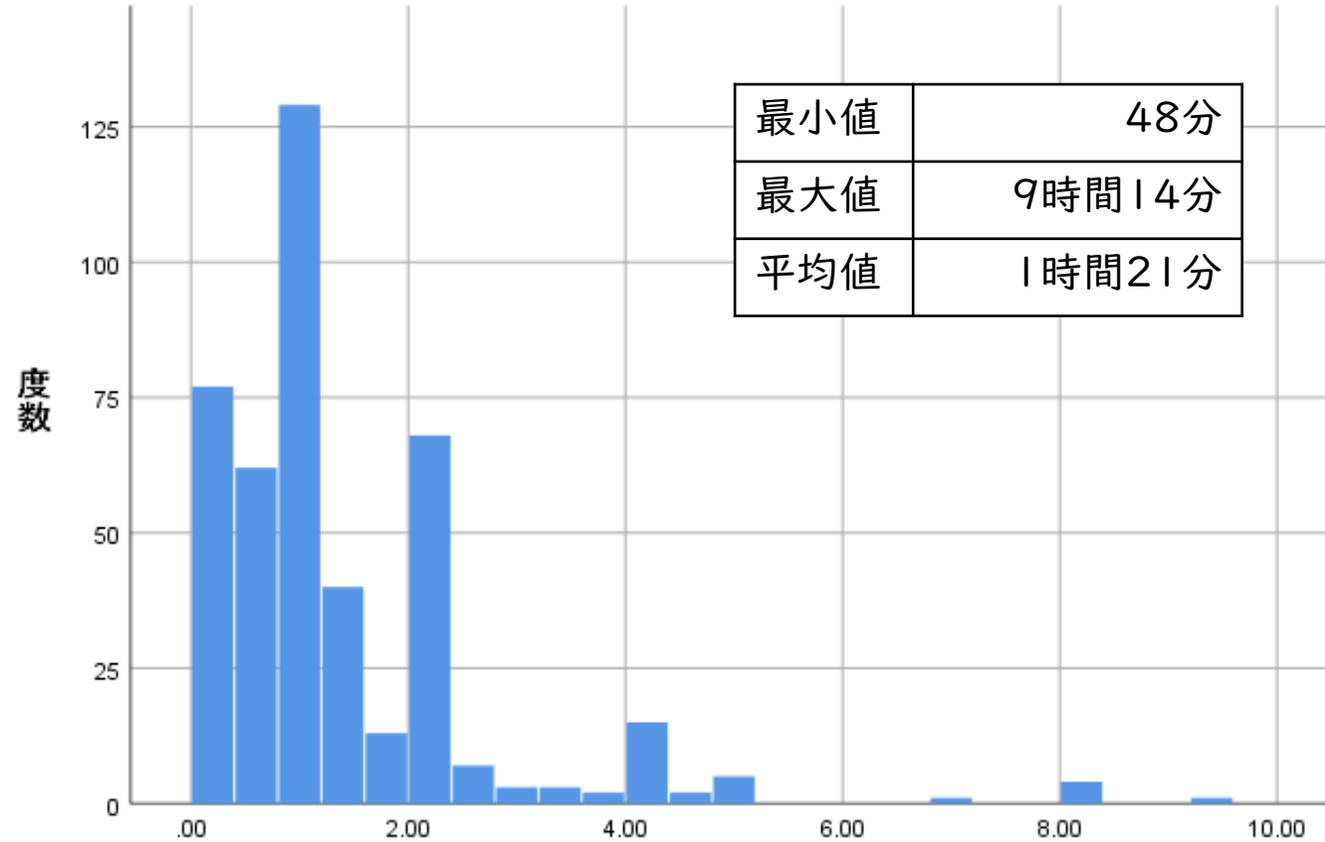


- 実施した
- 実施しなかった

一年間の実施回数



一回あたりの園内研修の時間（総時間/回数）



一回当たりの時間数（園内研修） (n=432)

(把握していない: 50名、欠損値:23名) <sup>17</sup>

# 園内研修を実施するにあたって、難しいと感じていること

■ まったく難しくない    ■ あまり難しくない    ■ やや難しい    ■ とても難しい

0%      20%      40%      60%      80%      100%

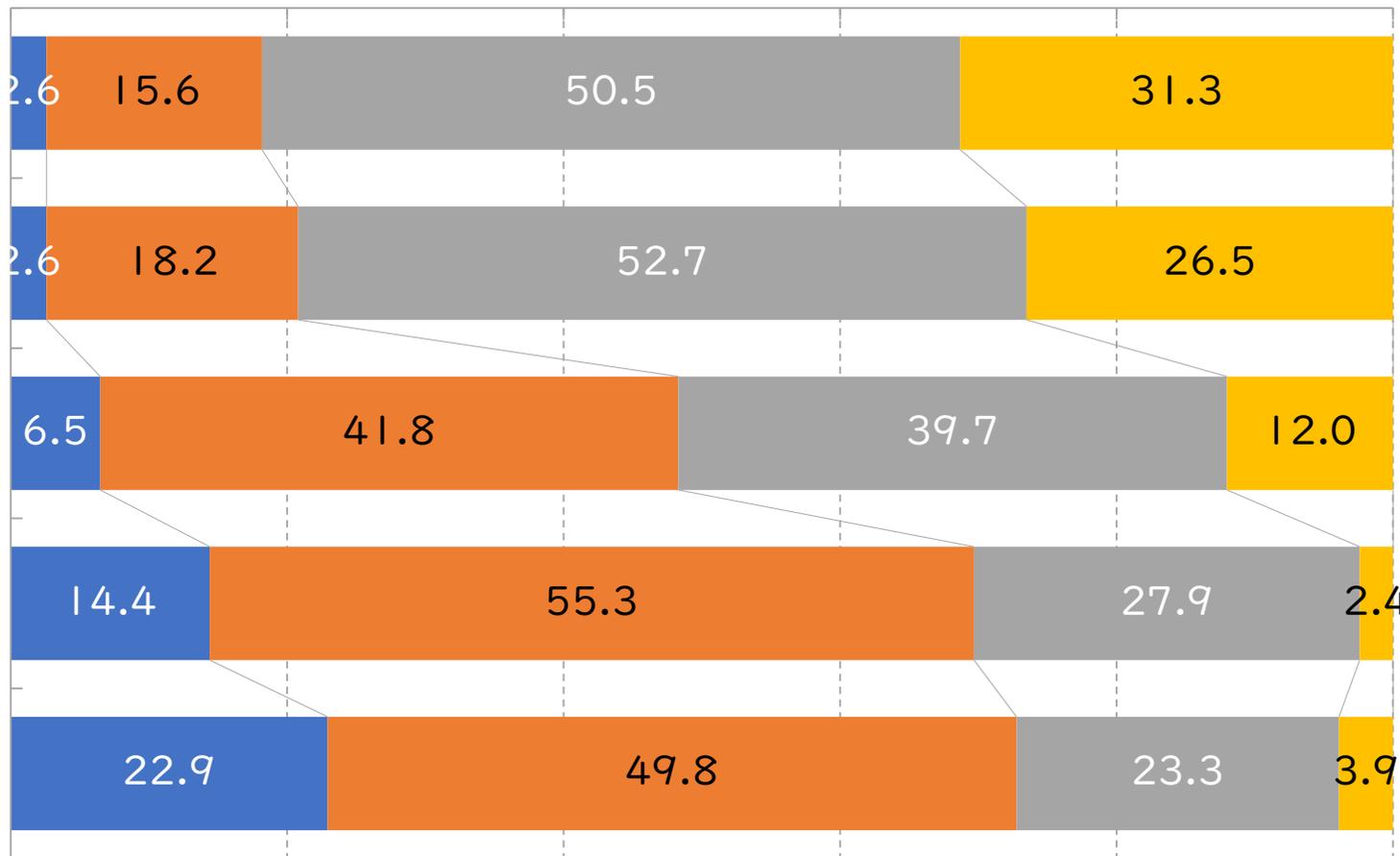
時間の確保

職員の配置・人数確保

職員の園内研修へのモチベーションを上げること

園内研修で取り上げるテーマを決めること

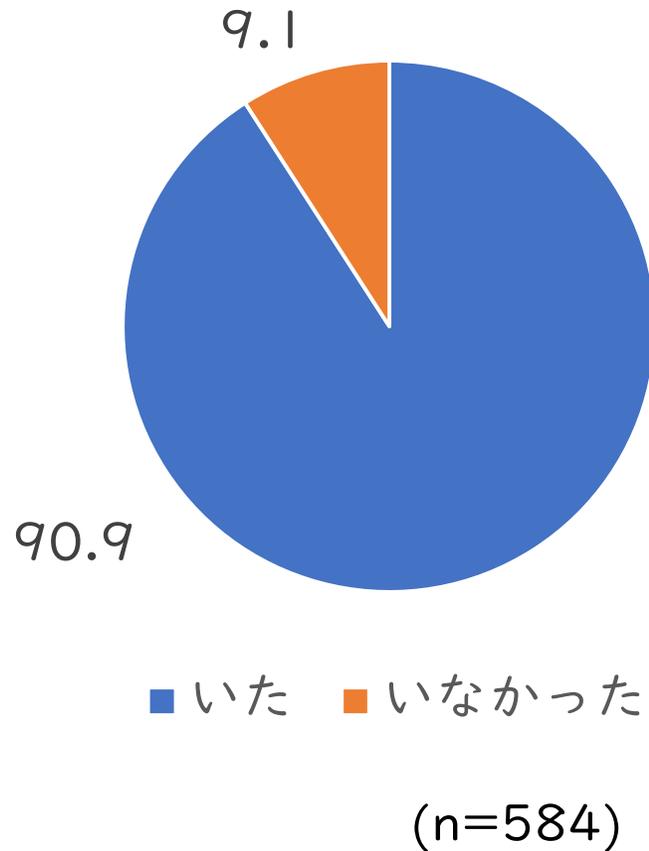
職員同士が話しやすい雰囲気づくり



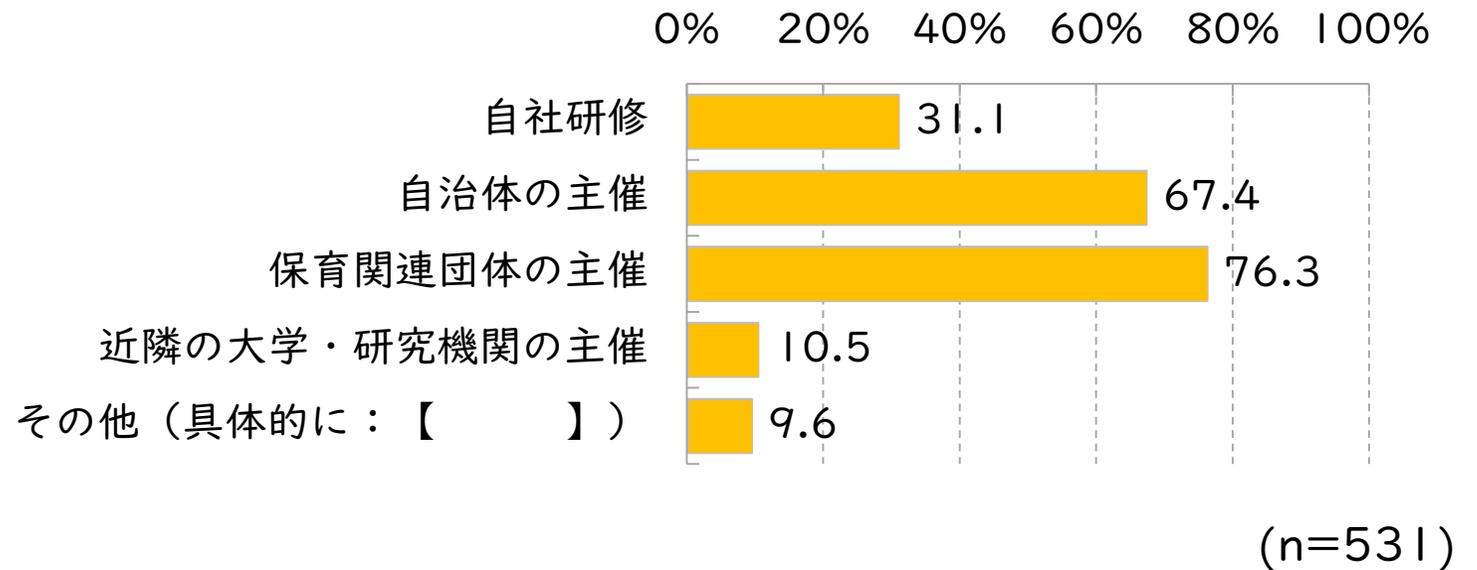
(n=584 施設長の回答から)

# 園外研修の参加状況 (平成30年度)

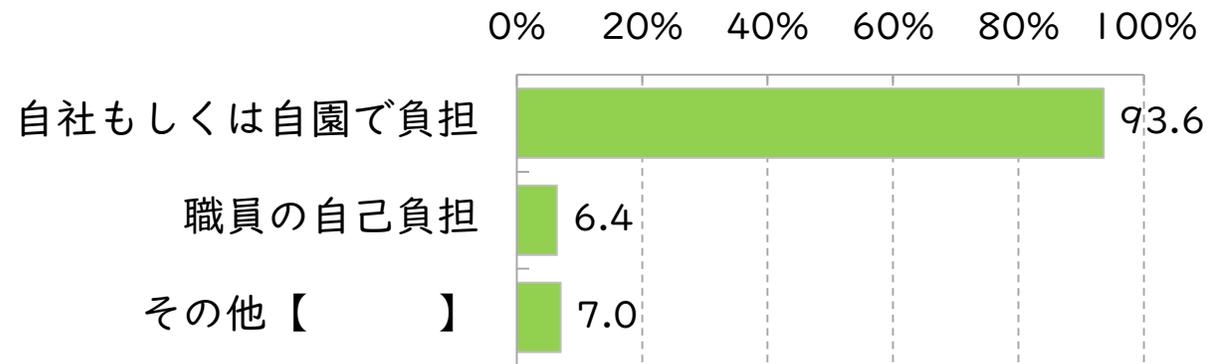
園外研修に参加した職員は



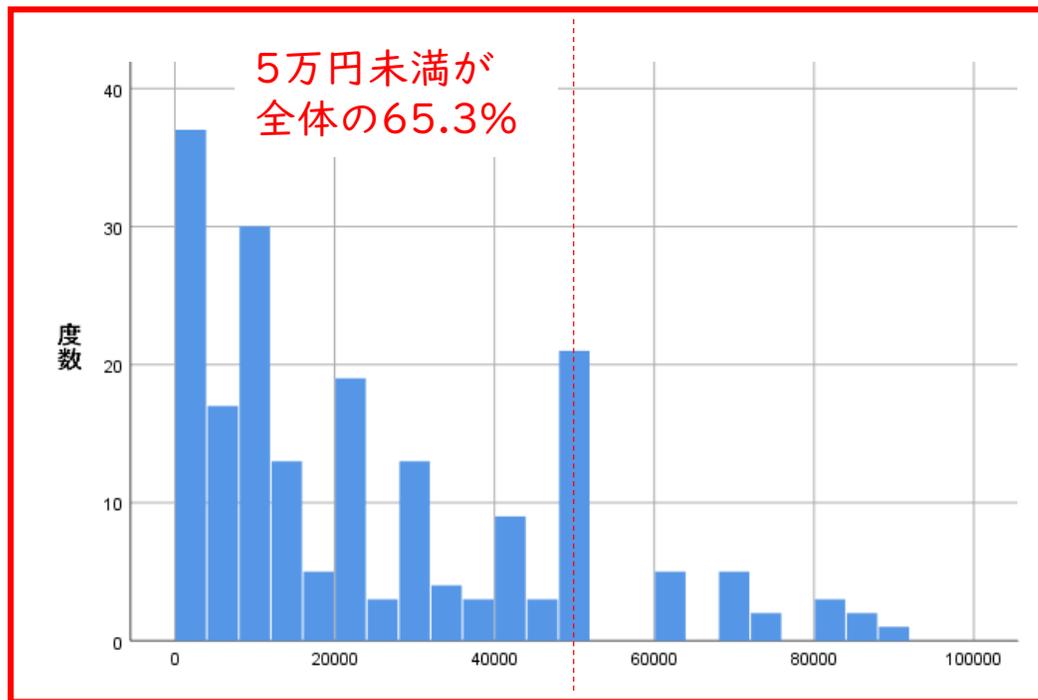
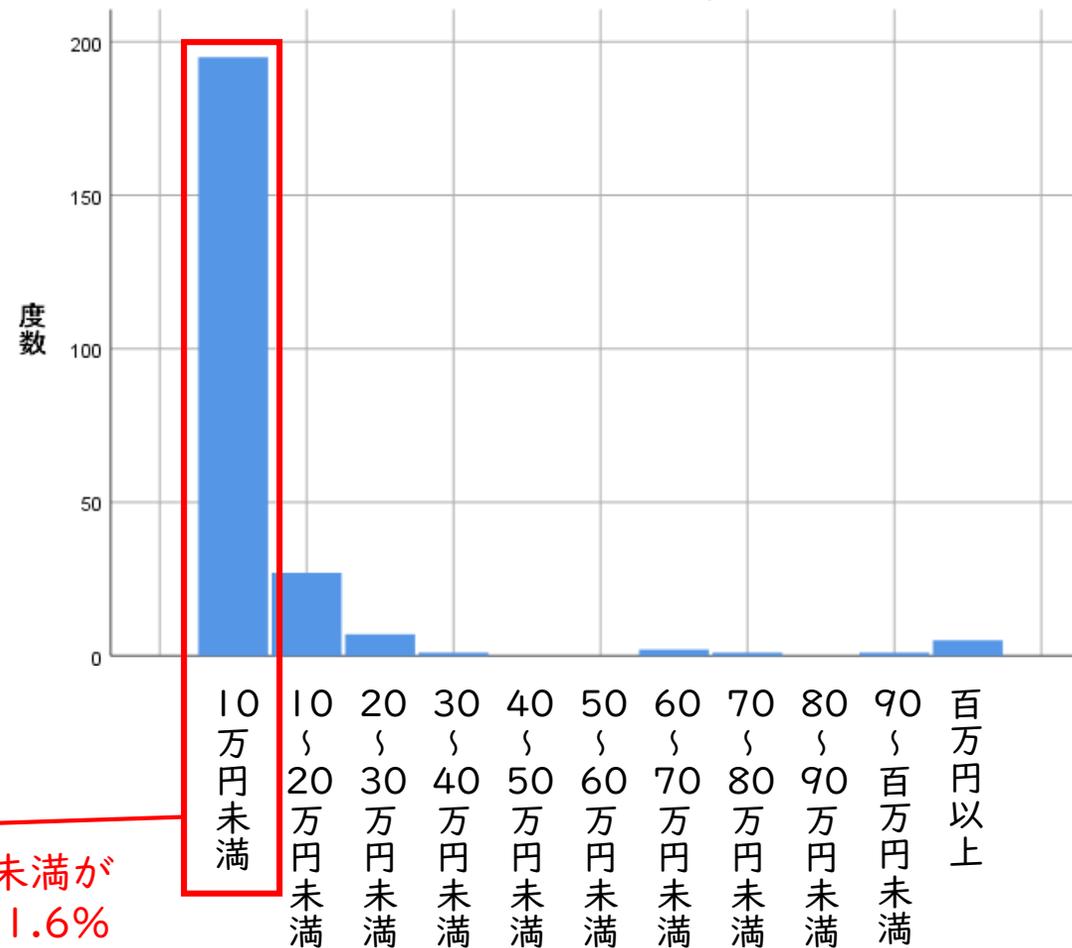
参加した園外研修の種類 (いくつでも)



# 園外研修参加費用の負担者（いくつでも）



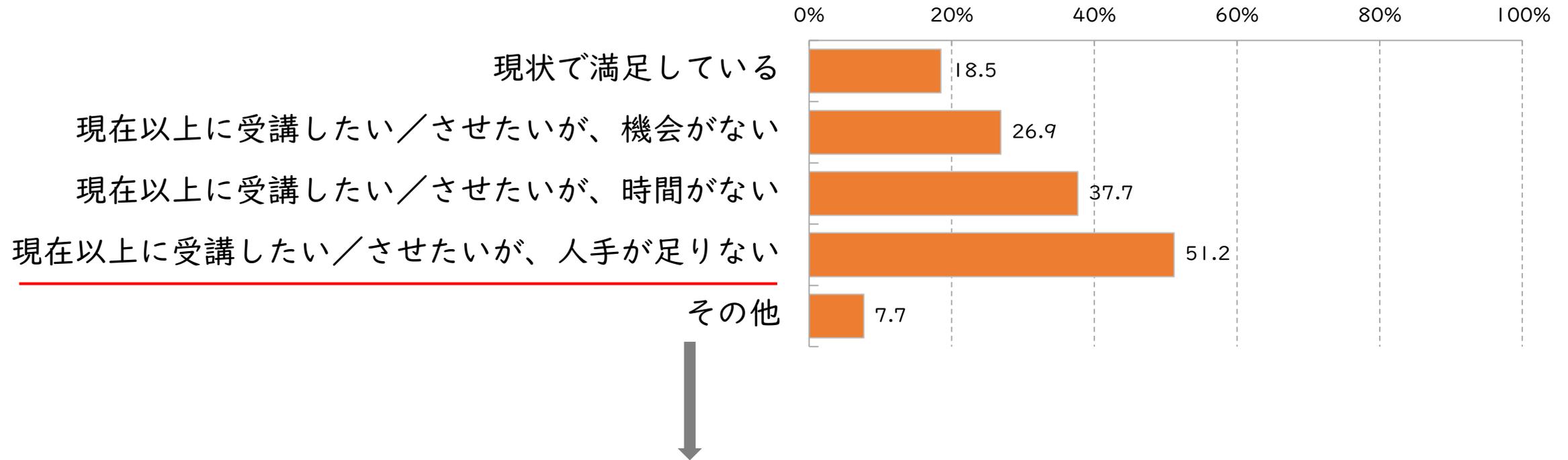
# 職員の園外研修参加費用（合計） (n=239)



(把握していない: 255名、欠損値:90名)

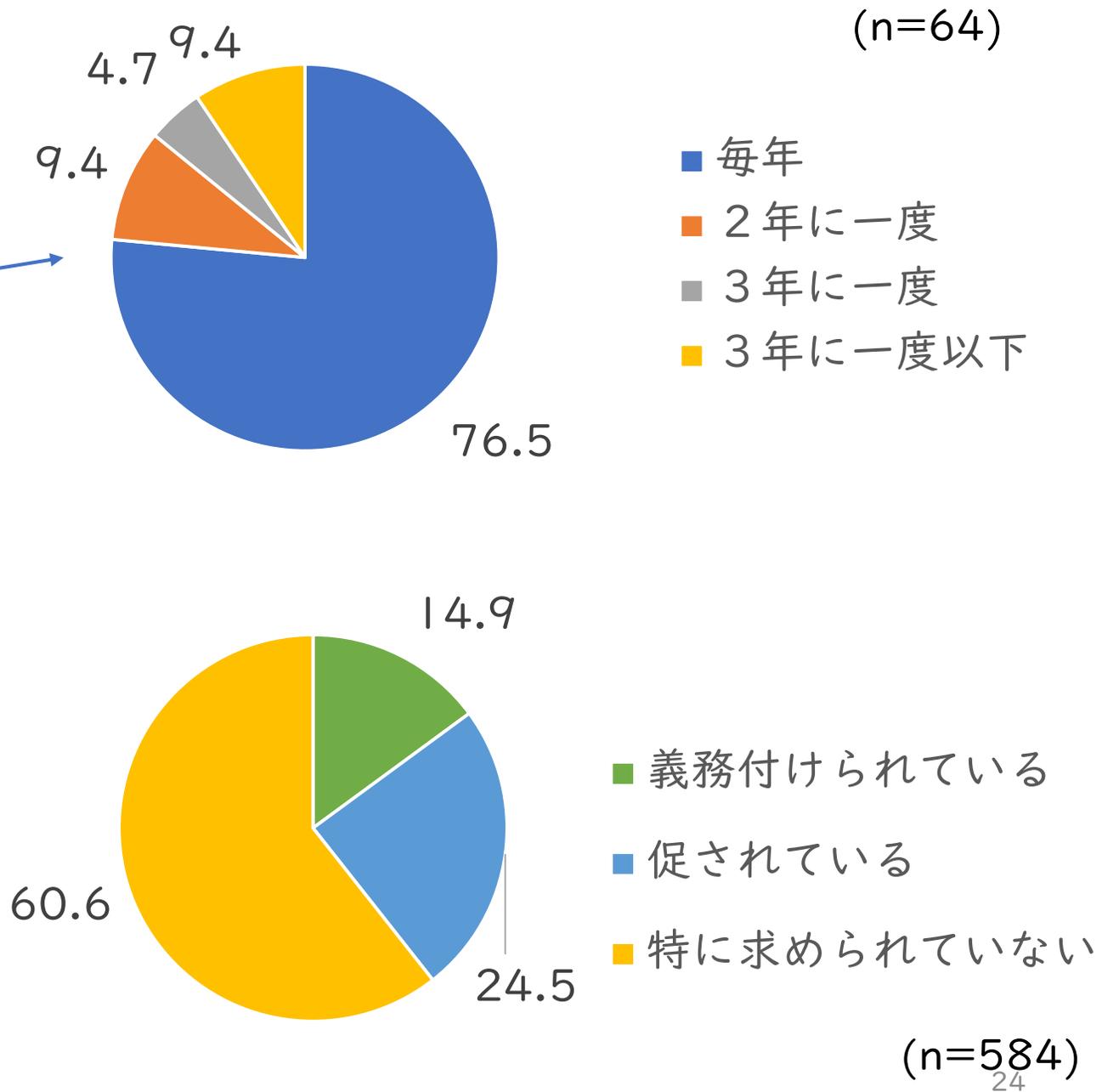
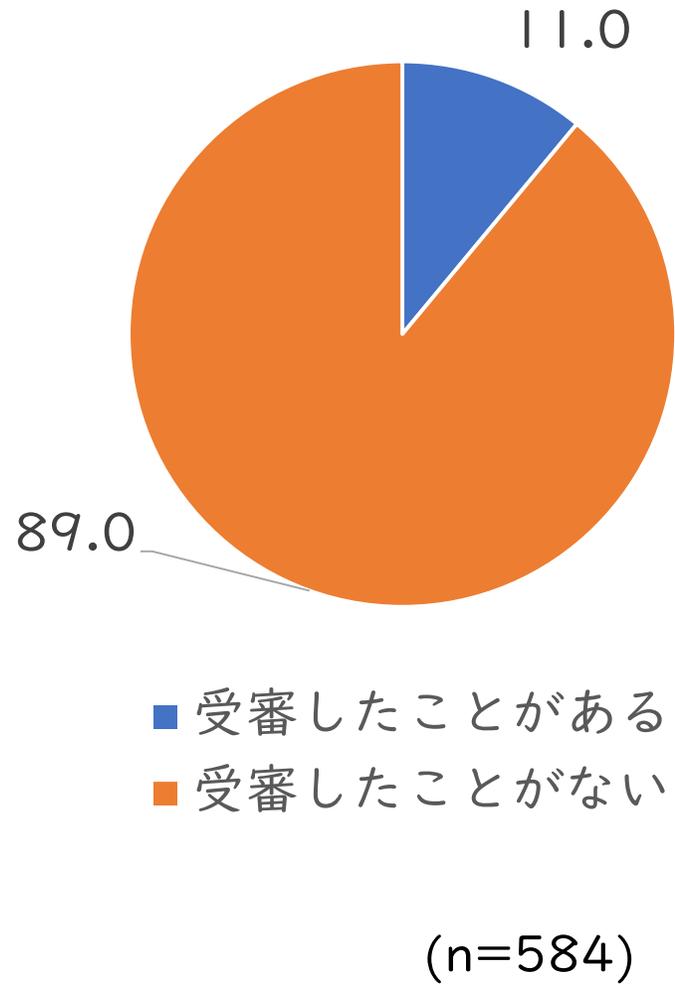
# 今後の園外研修についての希望（いくつでも）

(n=584)



- 受講したい、させたい内容が見つからない／少ない。
- 人気の研修は抽選で受講できない場合がある。
- 認可外や企業主導型は対象外が多い。
- 受講を申し込んでも自治体の開催は認可外だからか落選して受講出来ない。

# 第三者評価の受審状況



## Ⅱ 保護者の利用施設への評価の実態（佐々木）

1. 企業主導型保育施設を利用している保護者が、施設についてどのような評価をしているか。
2. 保育者が「保育の質が高い」「全体的に園に満足している」と答えた施設ではどのような取り組みを行っているか。

## Ⅲ 保護者の保育施設選択の要因（深井）

1. 保護者が保育施設を選択する際に、どのような情報を重視しているか。
2. 保護者が保育施設を選択を考えるときに、企業主導型保育事業は保育施設の選択の中でどのような立ち位置なのか。